

可燃ごみについてのお願い



最近、カラス等による可燃ごみを荒らす被害が増加しています。カラス等は、臭いではなく視覚でエサを探すので、これらのことに一人ひとりが配慮し、散乱防止に努めてください。

可燃ごみの出し方

- 可燃ごみ袋は、なるべく交差点を避け、収集経路の進行方向にご近所で固めて出すようにしてください。(交通量の多い交差点は、収集車が他の車両の通行の妨げをしてしまうため)
- 現在1世帯で可燃ごみを出されている場合、収集時間の効率化のため、ご近所で固めて出すようご協力をお願いします。
- ごみ袋は、必ず大口町指定のごみ袋を使用し、空き缶やビン、金属類、乾電池などの危険物は、絶対に入れないでください。これらが含まれている可燃ごみ袋は収集できません。収集できない可燃ごみ袋はご近所の迷惑になります。絶対に上記のことを守り出してください。

可燃ごみの減量

- ごみは、必ず分別をしましょう。容器包装プラスチック、缶、びん、ペットボトルや新聞、雑誌、ざつがみなどは資源ごみとして決められた種類ごとに分別をすれば再利用をすることが可能になり、可燃ごみの減量にも繋がります。
- 買い物をするときは、ごみを捨てる時のことも考え、本当に必要なものかよく考えて上手な買い物をしましょう。シャンプーや洗剤などの詰め替え商品を利用し、無駄な容器を減らしましょう。
- 料理は食べ残しが出ないようにしましょう。台所から出る生ごみは、水分を多く含み、特に夏場は悪臭の発生原因になります。しっかりと水を切ってから捨てましょう。
- 買い物に出かけるときは、マイバックを持って行き、レジ袋はもらわないようにしましょう。

カラス対策

- カラスのエサとなる残飯を減らしましょう。
- 生ごみを捨てるときは、ごみ袋の外から見えないようリサイクルできない紙などで包み、カラスから見えないよう工夫をお願いします。
- 集積場所にスペースなどがある場合、カラス除け用かごなどを使用し出す。
- 可燃ごみを前日から出すと、荒らされる被害があるため、必ず決められた曜日の朝に出してください。

環境 だより



問合せ先
環境経済課 ☎ 95-1613



カラスがごみ袋を
引きずり出せない
ようにしましょう。



▲かごなどを使用し、ネットをかぶせる



▲ネットの周りに重りを置く